

ヘッジファンド概況（2020年1月）

2020年2月

資産運用研究所
ファンドアナリスト
野澤 光希

当月（2020年1月）のヘッジファンドの資金動向やパフォーマンス概況は、以下のとおりである。（データの出所はユーリカヘッジ。資金動向はユーリカヘッジのデータベースのうち2020年2月18日時点で報告があった58.39%のファンドに基づく推計値であり、パフォーマンスは2月25日時点で取得したヘッジファンド・インデックスより作成。）

1. ヘッジファンドの資金動向

～当月の運用損益は全地域でプラスとなった～

当月のヘッジファンド全体の運用損益は16億ドルの運用益、純流出入額は4億ドルの純流入となり、当期末の運用残高は20億ドル増の2兆3,046億ドルであった（図表1）。

戦略別にみると、前月末と比べて運用残高がプラスとなったのは、9戦略（その他を除く）のうち6戦略であった（図表2,3）。運用残高が最も増加したのはマネージドフューチャーズで、30億ドルの増加となっている。一方、運用残高が最も減少したのは株式ロング・ショートで17億ドルの減少となり、純流出入額は1年7カ月連続でマイナスとなっている。投資地域別でみると、運用損益、純流出入額ともに北米（13億ドルの運用益、19億ドルの純流入）が最も大きかった。また、運用損益は全地域でプラスとなった（図表4,5）。

2. ヘッジファンドのパフォーマンス概況

～当月、直近1年間のリターンとともに債券アービトラージが最も高い～

ユーリカヘッジ・ヘッジファンド・インデックスの直近1年間の戦略別パフォーマンス概況は以下のとおりである（図表6,7,8）。（インデックスの概要は巻末Appendixを参照）

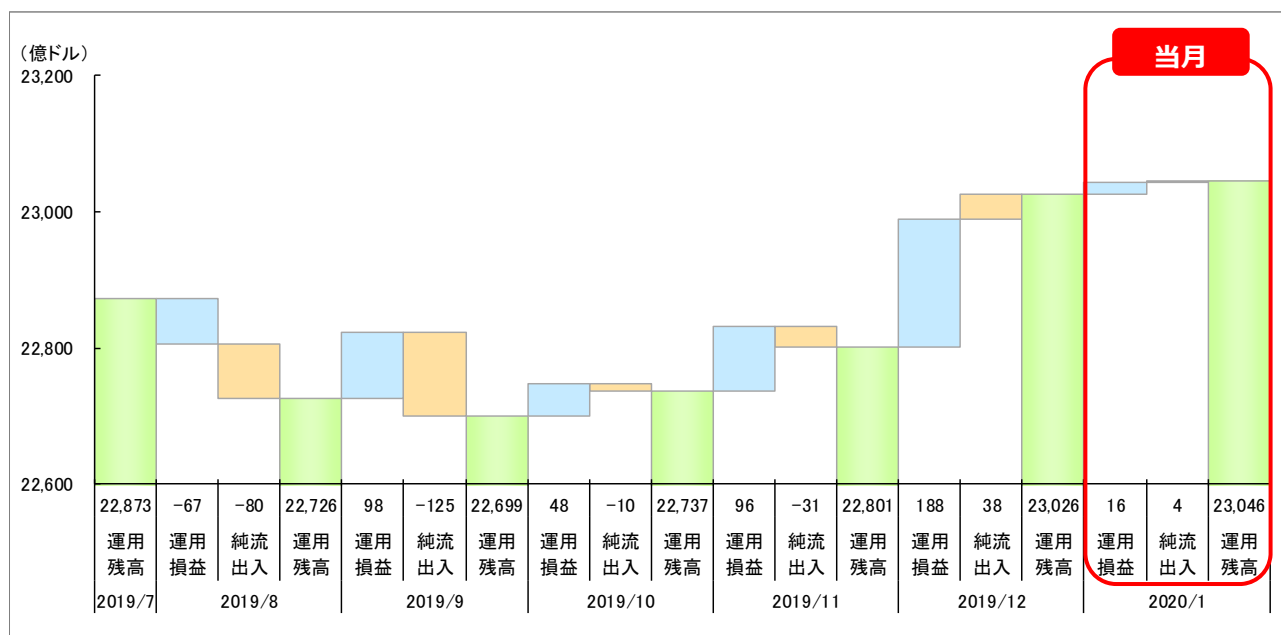
当月のユーリカヘッジ・ヘッジファンド・インデックスのリターンは+0.08%となった。戦略別にみると、当月のリターンは9戦略のうち6戦略がプラスで、最もリターンが高かったのは、債券アービトラージの+0.89%であった。また、直近1年間で最もリターンが高かったのは債券アービトラージの+6.97%、次いで株式ロング・ショートの+6.81%となり、リターン/リスク比が最も高かったのは、債券アービトラージの+5.22、次いでアービトラージの+4.98であった。

※この戦略別リターンに使用している指数は、単純平均で計算されているので、図表2の運用損益の符号と一致しないことがある。

1. ヘッジファンドの資金動向

図表 1 ヘッジファンド全体の資金動向

※グラフの見方：左から順に「前月末の運用残高」「該当月の運用損益」「該当月の純流出入」、左記3点を合計した「該当月末の運用残高」が並んでいる



(参考) ユーリカヘッジ・ヘッジファンド・インデックスのリターン (%)

2019/8	2019/9	2019/10	2019/11	2019/12	2020/1
-0.34	-0.09	0.41	0.80	1.44	0.08

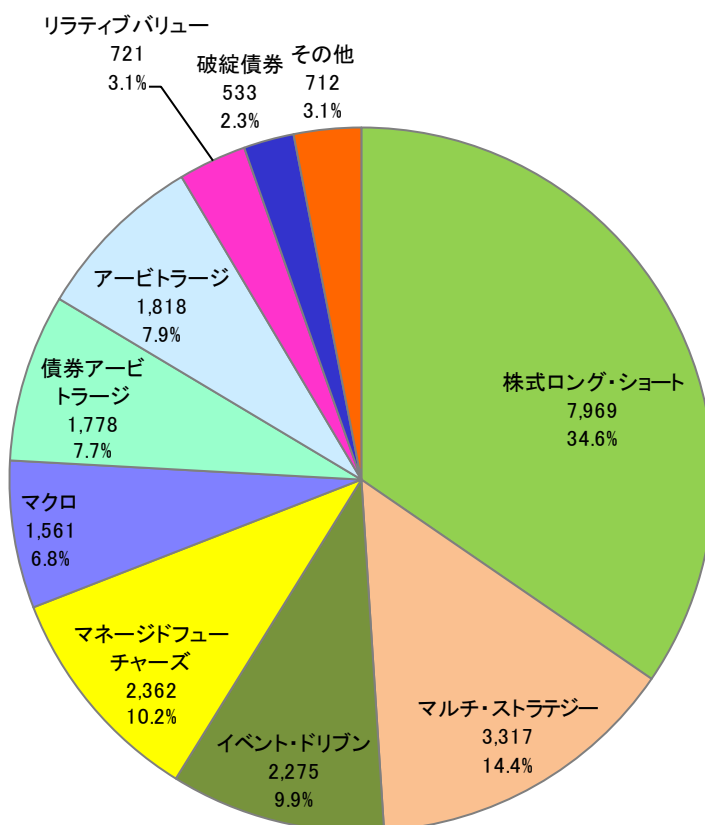
※ 当インデックスは単純平均で算出されている。

図表2 ヘッジファンドの戦略別資金動向

(億ドル)

投資戦略	1月末 運用残高 a + b + c	1月末 構成比	12月末 運用残高 a	1月中 運用損益 b	1月中 純流出入 c	運用損益+ 純流出入 b + c
株式ロング・ショート	7,969	34.6%	7,987	5	-22	-17
マルチ・ストラテジー	3,317	14.4%	3,333	-21	4	-16
イベント・ドリブン	2,275	9.9%	2,273	-0	3	2
マネージドフューチャーズ	2,362	10.2%	2,331	16	14	30
マクロ	1,561	6.8%	1,558	-1	5	3
債券アービトラージ	1,778	7.7%	1,771	7	-1	7
アービトラージ	1,818	7.9%	1,815	1	2	3
リラティブバリュー	721	3.1%	716	4	0	5
破綻債券	533	2.3%	534	0	-1	-1
その他	712	3.1%	708	4	-0	4
全体	23,046	100.0%	23,026	16	4	20

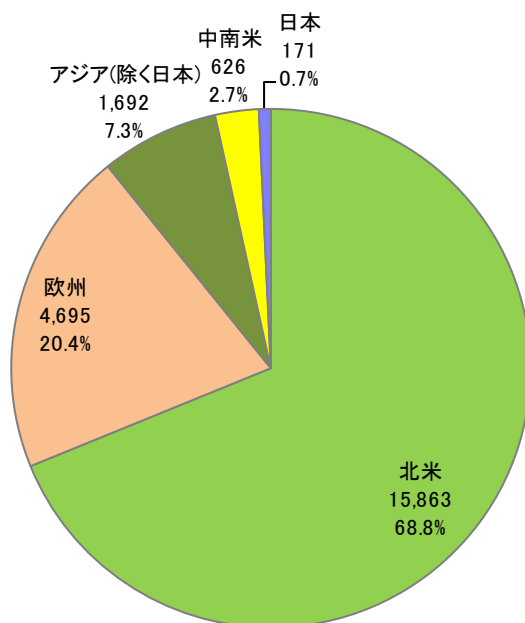
図表3 運用残高の戦略別構成比 (2020年1月末)



図表4 ヘッジファンドの投資地域別の資金動向

投資地域	(億ドル)					
	1月末 運用残高	1月末 構成比	12月末 運用残高	1月中 運用損益	1月中 純流出入	運用損益+ 純流出入
	a + b + c		a	b	c	b + c
北米	15,863	68.8%	15,831	13	19	31
欧州	4,695	20.4%	4,702	1	-9	-7
アジア(除く日本)	1,692	7.3%	1,697	0	-6	-5
中南米	626	2.7%	625	1	0	2
日本	171	0.7%	171	0	-0	-0
全体	23,046	100.0%	23,026	16	4	20

図表5 運用残高の投資地域別構成比 (2020年1月末)



2. ヘッジファンドのパフォーマンス概況

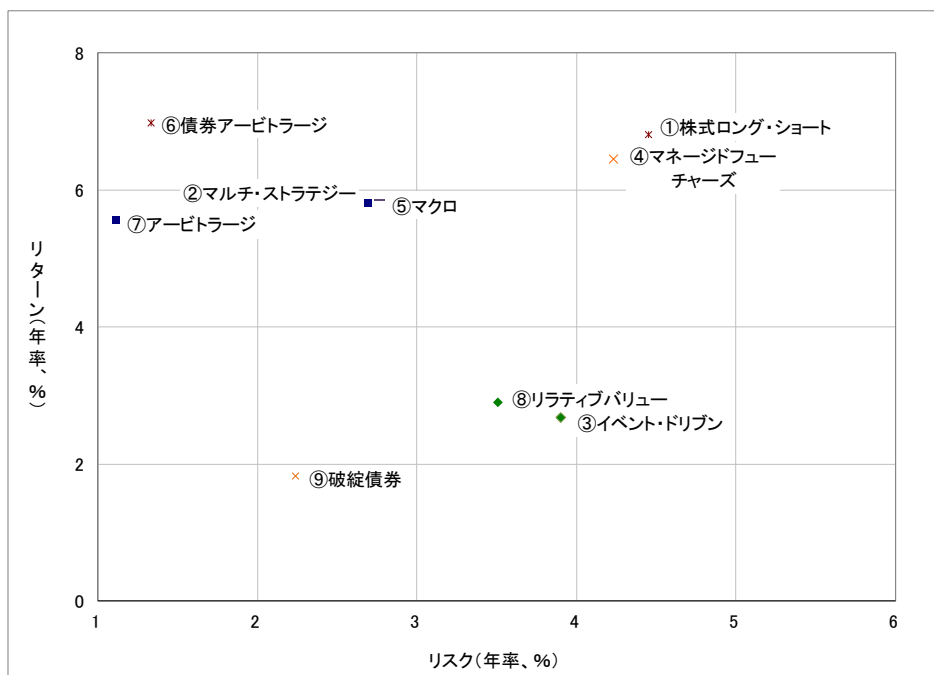
図表6 直近1年間の月次リターンの推移

戦略	2019 /2	2019 /3	2019 /4	2019 /5	2019 /6	2019 /7	2019 /8	2019 /9	2019 /10	2019 /11	2019 /12	2020 /1	直近1年間	
													リターン	リスク
①株式ロング・ショート	1.58	0.50	1.30	-2.17	1.97	0.42	-1.17	0.20	1.14	1.39	1.99	-0.44	6.81	4.45
②マルチ・ストラテジー	0.68	0.48	0.67	-0.99	1.90	0.64	-0.75	0.28	0.38	0.48	1.40	0.50	5.80	2.70
③イベント・ドリブン	1.15	0.30	1.51	-1.62	0.90	0.18	-1.71	0.20	-0.17	0.95	1.74	-0.72	2.68	3.91
④マネージド・フューチャーズ	0.26	1.68	0.80	-0.61	2.03	1.20	1.99	-1.91	-1.13	0.46	0.85	0.74	6.45	4.23
⑤マクロ	0.32	0.85	0.62	0.07	2.16	0.48	1.32	-0.39	-0.03	-0.31	1.17	-0.52	5.85	2.76
⑥債券アービトラージ	0.74	0.64	0.83	-0.02	0.98	0.60	-0.22	0.55	0.45	0.30	1.03	0.89	6.97	1.34
⑦アービトラージ	0.86	0.43	0.57	-0.15	0.65	0.64	-0.11	0.17	0.53	0.71	0.69	0.44	5.56	1.12
⑧リラティブバリュー	0.87	0.03	1.15	-1.45	1.12	0.17	-1.90	0.45	-0.03	1.26	1.06	0.20	2.90	3.51
⑨破綻債券	0.49	0.12	0.96	-0.80	0.76	-0.29	-0.84	0.06	-0.27	0.26	1.25	0.14	1.82	2.24
⑩TOPIX(配当込)	2.60	0.09	1.65	-6.52	2.76	0.91	-3.37	6.04	4.99	1.94	1.45	-2.14	10.17	12.12

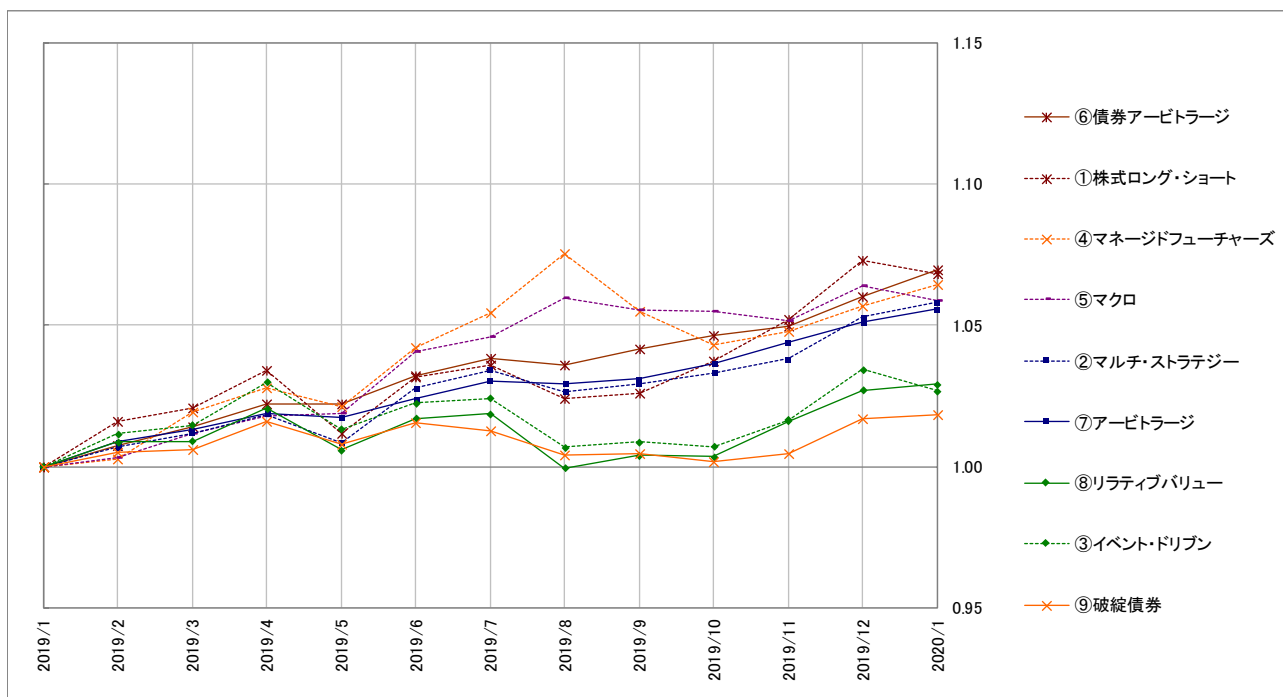
図表7 直近1年間のリターン・リスク (2020年1月末)

戦略	リターン (%)		リスク (%)		リターン/リスク比	
	値	順位	値	順位	値	順位
①株式ロング・ショート	6.81	2	4.45	1.53	5	
②マルチ・ストラテジー	5.80	5	2.70	2.15	3	
③イベント・ドリブン	2.68	8	3.91	0.69	9	
④マネージドフューチャーズ	6.45	3	4.23	1.52	6	
⑤マクロ	5.85	4	2.76	2.12	4	
⑥債券アービトラージ	6.97	1	1.34	5.22	1	
⑦アービトラージ	5.56	6	1.12	4.98	2	
⑧リラティブバリュー	2.90	7	3.51	0.82	7	
⑨破綻債券	1.82	9	2.24	0.81	8	

(分析期間) 2019年2月~2020年1月の月次リターンデータ



図表8 直近1年間の指数の推移 (2019年1月末 = 1.0)



※ 図表 1~5,7,8 はユーリカヘッジより日興リサーチセンター作成
 ※ 図表 6 はユーリカヘッジ、リフィニティブより日興リサーチセンター作成
 ※ 分析には 2019年2月~2020年1月の月次リターンデータを使用

Appendix

- ユーリカヘッジ・ヘッジファンド・インデックス (Eurekahedge Hedge Fund Indices) は、ユーリカヘッジが保有するヘッジファンド・データベースのファンドを組入れている。
- この指数には 10 本の戦略別サブインデックスがあり、各戦略の概要は以下のとおりである。

アービトラージ (Arbitrage)

異なる市場において、同一商品の価格が異なるという市場の非効率性を利用し利益を上げる戦略。

マネージドフューチャーズ (CTA / Managed Futures)

商品先物、オプション、先物為替取引に直接または商品投資顧問業者を仲介し投資する戦略。

破綻債券 (Distressed Debt)

財務、もしくは経営面で困難に陥った企業の債券に投資し、その後の企業の信用力回復に伴う債券価格の上昇から利益を上げる戦略。

イベント・ドリブン (Event Driven)

近い将来に予想される、もしくは起きる可能性のある企業の合併、公募増資、買収などのイベントを利用した戦略。

債券アービトラージ (Fixed Income)

フィックス・インカム証券とそのデリバティブ商品においてロングとショートのポジションを組み合わせる戦略。

株式ロング・ショート (Long / Short Equities)

価格が上がる見込みの株式をロングし、逆に下がりそうな株式をショートし、相場のトレンドに左右されずに利益を上げる戦略。

マクロ (Macro)

トップダウン型のマクロ的な視野 (金利や通貨など) に基づいて投資ポジションを取る戦略。

マルチ・ストラテジー (Multi-Strategy)

複数の投資戦略を組み合わせた戦略。

リラティブバリュー (Relative Value)

アセット間のミスプライスを利用し、低リスクで収益を追求する戦略。

その他 (Others)

他のヘッジファンド戦略で使用されている多様な投資機会にアロケーションを行う戦略。

«以下にユーリカヘッジの免責事項を引用する»

Eurekahedge(“ユーリカヘッジ”)のデータは、各運用機関及び外部の情報を元に作成しております。ユーリカヘッジ及びその関係者は情報の正確性、完全性、市場性、仮定、計算などについて保証を行っておりません。情報の閲覧・利用者は、データの使用に際して、情報における全てのリスクを認識し、負う必要があります。ユーリカヘッジではデータ及び情報に基づくいかなる理由の損害に関しても責任を負いかねます。データは、特定のファンド、有価証券、または金融商品、企業への投資に関する勧誘或いは販売勧誘を構成するものではなく、また、金融機関や専門家としての助言として解釈されるべきではありません。Copyright © 2011 Eurekahedge Pte Ltd